

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	総務文教常任委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 井上
日 時	令和2年6月26日(金曜日)	開 議 閉 議	午前10時20分 午前11時50分
出席委員	◎山本 ○松山 三上 浅田 木村 福井 木曾 石野		
執行機関 出席者	石田総務部長、松野総務課長、森川自治防災課長、 岩本総務課総務係長、牧野自治防災課副課長、齊藤自治防災課防災・危機管理係長、 片山教育部長、國府教育部次長、亀井教育総務課長、伊豆田学校教育課長、 谷口社会教育課長、山崎社会教育課人権教育担当課長、桂学校給食センター所長、 松永歴史文化財課長		
事務局	井上事務局次長		
傍聴	可	市民 1名	報道関係者 0名 議員 0名()

会 議 の 概 要

10:20

1 開議

2 事務局日程説明

10:20

3 議案審査

(総務部 入室)

10:21～

【総務部】

(1) 第5号議案 令和2年度亀岡市一般会計補正予算(第4号)

総務部長 あいさつ
各課長 説明

《質疑》

<福井委員>

二酸化炭素が1,000ppm以下なら換気ができたことになるとのことであるが、外気導入を制限する機械があるとはどういうことか。

<総務課長>

市役所で使用している空調機には、外気取入口に、取り込む風量を制御するダンパーという機械があり、ダンパーには風量や温度に応じて適切にコントロールする機器が付いている。その機器を更新することにより、より適切に外気の取り入れを調整することができるようになる。

<福井委員>

例えば100入れていた外気を、換気するため50に絞ったとすれば、1,000

ppmは達成できるのか。

<総務課長>

今回、1階と8階の機器の動きがよくないため更新する。現状、外気を取り入れて1,000ppm以下になっているかを計測し調整しているが、機器の更新により冷房と外気の取り入れのバランスがより適切にとれるようになる。

<総務部長>

現在、機器が機能していないので、手動で行っているが、更新することにより自動で基準値以下になるようコントロールできるようになる。

<木曾委員>

災害が起きた時の避難対策をとっている自治体と、これまでどおりの避難対策でやろうと考えている自治体とがある。避難所ごとの避難者数を想定しているのか。

<自治防災課長>

埴生断層により震度7の地震が起こる想定で、最大避難者数1万9千人でシミュレーションしている。1人1.65㎡(半坪)で計算し、58カ所の避難所を設定している。新型コロナウイルス感染症対策のこともあり、1.65㎡では非常に狭いため、事前に各自治会、自主防災会に説明し、一時避難所として区の公民館など133カ所を指定している。新型コロナウイルス感染症対策の備蓄が足りないため、今回の国からの交付金により、マスクや消毒液などが配置できるよう計画している。シミュレーションとしては、1.65㎡を倍、4倍に増やしたい。ただ、平成25年から令和2年までの避難者数の総計は、平成30年7月豪雨の時の最大で、合計40カ所の避難所に約400人が避難された。最大期間は西別院町で15日間、それ以外は24時間以内であり、過去の数値も含めてシミュレーションしていきたい。

<木曾委員>

埴生断層で震度7の地震が起これば、相当数の被災者が出ると予測されている。現在の避難所では、一時避難所を合わせても到底間に合わない。その上、コロナ対策が必要になる。避難者に感染の疑いがある場合、検査結果がわかるまでの対策が必要だ。避難所運営を市職員だけで賄うことは無理であり、自治会との連携が必要だが、自治会にはノウハウがないので、早急に対策を取りまとめていただきたい。

<自治防災課長>

段ボールベッドについても、組み立てたことがない自主防災会もあるので、講習会の開催を考えている。また、避難所職員のマンパワーが絶対的に足りないので、一時避難所は区長をはじめ自主防災会にお世話になることもある。どのように流れていくか、シミュレーションを検討していく。

<木曾委員>

特に山間部については、今までの例もあるように、早急に対策をとっていただきたい。

<福井委員>

庁舎の空調機器を更新すれば、窓は開けなくてもよいということか。

<総務課長>

空調で1,000ppm以下に抑えることができれば、換気のために窓を開ける必要はないと考えている。

<木曾委員>

避難所の換気に関することは、この予算の中に入っているのか。

<自治防災課長>

空気清浄機と扇風機を購入する。

<木曾委員>

避難所の数だけあるのか。

<自治防災課長>

100台分の予算を計上している。段ボールベッドなど、全国一斉になるため品薄になるかもしれない。早急に手配する。

<石野委員>

庁舎の飛沫防止パーテーションの設置は、今のビニールを取り払って、恒久的なものにするのか。

<総務課長>

そのとおりである。今のビニールを外して、カウンターの上にアクリル製のものを設置していく。

<浅田委員>

一時避難所にも、空気清浄機や間仕切りなどの備品が入るのか。

<自治防災課長>

災害が起こるであろうという時には配備する。備蓄防災倉庫を増やして、消防団で言うブロックごとに備蓄倉庫を配置し、そこから各避難所に配備することを考えているが、まだ試案である。よい場所があれば教えていただきたい。

(質疑終了)

10:45

(総務部 退室)

(教育部 入室)

10:47～

【教育部】

(1) 第5号議案 令和2年度亀岡市一般会計補正予算(第4号)

教育部長 あいさつ

各課長 説明

11:02

《質疑》

<福井委員>

庁舎は、二酸化炭素が1,000ppmを下回っていれば窓は開けなくてもよいという基準のようだが、学校はどうか。

<教育総務課長>

エアコンをつけている時も換気は行うよう指示している。

<福井委員>

子どものことなので、適正に管理していただくよう要望する。今後、いろいろな対策を手探りでやっていただくことになる。子どものことは一番大事なことである。市議会は、6月議会から通年議会が始まっており、いつでも議長が招集できるので、必要なことは隠さずすぐに出して、すぐ実行できるようにしてほしい。要望である。

<木曾委員>

消毒液などの量が不足、学校独自で入手されているところもあると聞いている。財源が確保できても、品物がなければどうしようもない。全国一斉になるが、どのように予想しているのか。

<学校教育課長>

各学校に、逐次、消毒液の保管状況を確認している。残り少ないという学校もあるが、何とか消毒液は確保できている。消毒液は全国的に品薄で、不安に感じている。先を見越して発注し、配布準備を進めている。加えて、企業から消毒液の寄附も多くいただいております、学校に配布している。マスク、体温計、消毒液は、以前に比べると納入までの期間が短くなってきている。現場で消毒液が足りなくならないよう、情報収集に努めて対応していく。

<木曾委員>

学校に渡している量を聞きたい。中学校ではクラブ活動をしているので、結構な量を使っていると聞く。既存業者だけでなく、いろいろなところから購入し、確実に消毒液が入手できるルートを作っておくべきだ。

<学校教育課長>

これまでから一業者でなく、様々な業者から購入している。単価が2倍、3倍になっているが、値段のことも言ってもらえないので、別のルートでも入手している。学校で必要な消毒液の量については、国や京都府も調査されており、1カ月当たり小規模校30、中規模校100、大規模校20～300程度必要との回答を得ている。市内小・中学校すべてで1カ月350～400程度必要との試算のもと発注している。様々なルート、個人や企業から寄附いただいた物も活用し、各学校で消毒液が不足することがないように、学校と連携し確保に努める。

<木曾委員>

学校の中で、どれだけの場所に消毒液が置いてあり、それで子どもたちの感染症対策になっているのかが見えないがどうか。

<学校教育課長>

トイレの出口、給食を食べる前、外遊びの後には手洗いを指示している。保護者や来庁者には、アルコール消毒液を置いて消毒をしていただいている。すべてのところにアルコール消毒液を置くことが望ましいが、確保が難しい。教育委員からも指摘されており、どのような対策が必要か、学校との連携のもと検討していく。

<木曾委員>

子どもは、教室に出入りする時にドアに触るので、そういうところには対策をとってほしい。計算上だけでなく、各学校の実態を把握して予算を活用してほしい。要望である。

<三上委員>

従来からの消毒液の学校配布は、現物支給か、予算配分か。また、今回はどうか。

<学校教育課長>

従来からは、現物支給である。今回は、予算配分になると思う。

<三上委員>

予算配分ということは、各校で選んで購入することになるのか。

<学校教育課長>

各学校の規模、ニーズにより、柔軟に迅速に購入していただくための支援策である。

<三上委員>

これまでは、消毒はしていなかったと思うが、これからは、必要な消毒液の量が増える。学校で購入する際、安価な物を購入することになると、人体にも影響するので、一定の基準を設けるべきだ。今回は臨時交付金であるが、今後、アフターコロナで社会のしくみが変わるので、これまでの何倍もの量が必要になってくる。それを見据えた予算組みを要望しておく。また、換気の問題であるが、今年は暑い中での授業が増える。大気中の二酸化炭素は400ppm程度であるが、庁舎は1,000

ppm を超えるとダメということである。学校の場合は、学校保健法の基準では1, 500 ppm だったと思う。学校薬剤師が時々検査に来られる。閉め切った状態と換気した時の差を調べたりもされる。人数や教室の形状でかなり変わる。換気しておかないと増えるという訳でもない。快適に勉強できるよう、検査をして、一律に換気を促すのではなく、学校の実情に合わせて対応してほしいがどうか。

<教育部次長>

新しい生活様式の中で学校生活を送る上では、学校医や薬剤師の方々と連携をとるよう言っている。5月27日付けで、教育委員会と学校保健会が連携し、ガイドラインを出した。それには、空調を使った際にも必ず換気をするようにとの文言を入れている。例えば、教室の上方の窓を対角線上に開けておくとか、窓がない部屋については入口を開けておくとか、休み時間に窓を開けるとか、やり方は様々あるが、空調を使ったとしてもしっかりと換気をしましょうということは学校にも示しており、各校の実態に応じて換気をしていただくことにしている。今後も、学校と話をしながら進めていく。

<三上委員>

検査に立ち会ったことがあるが、換気をしなくてもそれほど数値が増えないので、ずっと開けておかなければならないのか疑問に思っている。絶対に換気をするようにということだけでなく、実証データに基づき臨機応変に対応していただきたい。

<石野委員>

文化資料館の入館者数は。

<歴史文化財課長>

通常であれば、1日10人程度の方が来館いただいている現状である。

<石野委員>

大河ドラマの影響で、文化資料館の入館者もこれから増えるだろう。早急に空調工事を行い、涼しい中でゆっくりと見学してもらえるように対応をお願いする。

<松山副委員長>

シルバー人材センターに清掃を委託する中には、トイレも入っているのか。

<教育総務課長>

シルバー人材センターには、もともと学校の施設管理を委託していた。これまで、子どもの使うトイレは子どもたちが清掃を行っていた。共用トイレや教職員用トイレの清掃を、シルバー人材センターに委託していた。新型コロナウイルス感染症対策として、学校再開後、子どもたちの清掃は止めており、教職員が清掃を行っているが、教職員の負担を軽減するため、シルバー人材センターに追加で委託したいと考えている。

<社会教育課人権教育担当課長>

この場をお借りして、今年度の女性集会を中止することを報告させていただく。女性集会は、実行委員会方式で、参画団体選出の実行委員により企画運営を実施している。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止はやむを得ないという意見が全ての参画団体から出された。1つの会場に多くの参加者が長時間集まって会議を行うことになるため、今回はやむを得ず中止とさせていただく。

(質疑終了)

11:29

(教育部 退室)

4 討論～採決

《委員間討議》

＜三上委員＞

消耗品を予算配分することが気になる。消耗品費はないのが実情である。純正でないインクを使って輪転機が故障することもある。予算がなく、かなり苦勞をしている。

＜福井委員＞

教育委員会で一括購入する方がよいように思うが、学校にも個性があり、予算配分の方がよいということもあるのではないか。

＜三上委員＞

全てを現物支給にするのではない。コロナが終息しても、これまでとは違う頻度で消毒液を使っていくことになるので、これまでどおりの配分額ではダメだ。配分額が低いということは共通認識しておいてほしい。

＜福井委員＞

コロナ用品は一括購入した方がよいのか。

＜三上委員＞

従来は現物支給、今回は予算配分と言っていた。品薄などいろいろな状況があり、お金でなければ仕方がないとも思う。

＜木曾委員＞

コロナ対策ということではなく、学校に必要な備品が不足していることを三上委員は指摘されていると思う。決算や予算の時に、委員会として言っていけばどうか。

＜山本委員長＞

委員会として検証していきたいと思う。委員間討議はないので、討論に入る。

11 : 34

《討論》

なし

《採決》

＜山本委員長＞

賛成者は挙手願う。

第5号議案（一般会計補正予算（第4号））

挙手全員 可決

《指摘要望事項》

なし

5 委員長報告の確認

— 委員長報告の朗読 —

＜木曾委員＞

4ページの一番上の収去という言葉はわかりにくい。除却とか撤去の方がわかりやすい。法律用語のようだが、委員会の報告なのでわかりやすいほうがよいと思う。

＜三上委員＞

法律用語なので、変えない方がよいのかもしれない。

<福井委員>

建物の撤去でよいのではないか。

<木曾委員>

裁判所の中で論争するのではなく、議会で言う委員長報告なので、できるだけわかりやすい方がよい。

<山本委員長>

収去は、取り除くこと、撤去することなので、わかりやすいように撤去に変えてよいか。

— 全員了 —

6 その他

(1) 議会だよりの内容について

<山本委員長>

議会だよりの項目について、

補正予算（第3号）

- ・GIGAスクール構想実現に向けて1人1台端末整備を行う情報教育推進経費
- ・かめおか霧の芸術祭の市長質疑内容を含めた文化振興経費

補正予算（第4号）

- ・避難所の感染症対策を行う災害対策経費
- ・学校が柔軟に活用できる感染症対策・学習保障推進経費

としてよいか。掲載内容のまとめについては、正副委員長に一任願う。

— 全員了 —

(2) 次回の月例会開催について

<山本委員長>

次回の委員会は、7月9日（木）午前10時から開催する。意見書もしくは決議文の作成について、防災の問題をどのように進めていくかについて、放置車両の処分に関する条例の制定についてを議題とする。また、決算分科会として、事務事業評価対象事業の選定を議題とする。

他になければ、これにて散会する。

散会 ～11:50